

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：20-251

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名：Stent Graft Induced New Entryに対する胸部大動脈ステントグラフト内挿術の治療成績

・目的：胸部大動脈弓部から下行大動脈の真性瘤やB型大動脈解離に対する胸部大動脈ステントグラフト内挿術（TEVAR）は増加し、本邦のガイドラインにおいても推奨されています。一方で通常の左開胸下人工血管置換術とは異なる特有の合併症が報告されており、慎重な対応が必要である点も認識されています。その中でもステントグラフトによる内膜損傷（Stent graft induced new entry; SINE）は増加傾向で再解離や破裂のリスクがあり追加治療が必要です。この研究ではSINEに対するTEVARの治療成績とその中期ならびに長期成績について検討し、そのヒントと落とし穴について明らかにします。

・研究期間：臨床研究IRB承認日～2022年12月31日

・研究対象：2009年1月1日～2020年12月31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

：性別、年齢、退院時生存率の有無、有害事象の有無とその詳細、既往歴、喫煙歴、糖尿病、脂質異常、透析の有無、高血圧、慢性肺疾患、経皮的冠動脈形成術、腎機能、CTによるStent Graft Induced New Entryの評価、術後合併症（エンドリークの有無）、2次的治療介入の有無をカルテから調査します。

③ 利用する者の範囲

：埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 高澤 晃利

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 高澤 晃利